

アメリカンフットボールコート1面 117.05m×56.08m=6,564㎡

概要

- ・アメリカンフットボールは、11人の競技者が敵味方に分かれて、パス、ラン、キックでボールを前に進め、相手のエンドゾーンに持ち込んで得点を争うゲームである。当初はラグビーから発展した競技のため、敵味方の区別無くボールの奪い合いとなっていた。
- ・1880年にエール大学のウォルター・キャンブがボールを保有して前進するオフェンスとその前進を阻止するディフェンスを交互におこなう現行ルールの原形を確立した。

寸法

- ・フィールドは長方形とし、サイドラインの長さ109.73m(360フィート)、エンドラインの長さ48.76m(160フィート)で囲まれた領域を示す。その外側にリミットラインを3.66m(12フィート)離して引き、この範囲内に障害物が無いものとする。また、通常のリミットラインまでの幅が確保できない場合でも1.83m(6フィート)以上は離すものとする。
- ・フィールドはその昔、マスを切るように線が引かれたため、見た目からグリッドアイアン(鉄格子)とも呼ばれる。現在もその名残からインフィールドの中に9.14m(10ヤード)毎にラインが引かれ、オフェンスがボールを進めた位置を確認できるようにしている。
- ・プレイヤーは試合中断中に自由に交代がおこなえるため、競技ラインとしてチームエリアをサイドラインの外側に明示する。

勾配

- ・グラウンドの勾配は、特に規定は無いが表面排水を考慮のうえ、できるだけ平坦に仕上げる。
- ・勾配は、0.5%程度を標準とし、0.3~1.0%の範囲で決定することが多い。
- ・他の競技と兼用するフィールドの場合は、他の競技のルールも考慮して決定する。

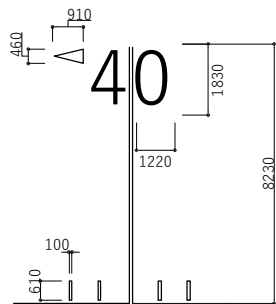
方位

- ・ゴールポストの相対する方位(長軸方向)は、プレイヤーが西日を避けるために南北方向が望ましい。
- ・恒風方向等の立地条件を考慮して決定することも必要である。
- ・メインの観客席は、太陽を背にするように西側に設置することが望ましい。

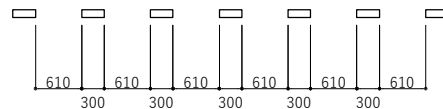
附属品

ラインと標示数字

- ・リミットラインは、61cm(24インチ)間隔に、長さ30cm(12インチ)の破線をサイドラインとエンドラインの3.66m(12フィート)の外側に引く。
- ・ヤードライン表示の数字は、サイドラインから8.23m(9ヤード)の位置に、縦1.83m(6フィート)、横1.22m(4フィート)で表示することが望ましい。
- ・フィールドの全てのラインの幅は10cmとする。ただし、サイドラインとエンドラインの幅は10cm以上ゴールラインの幅は20cmでもよい。



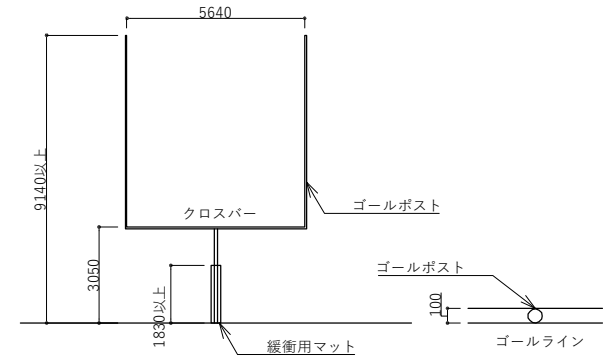
ヤードライン



リミットライン

ゴール

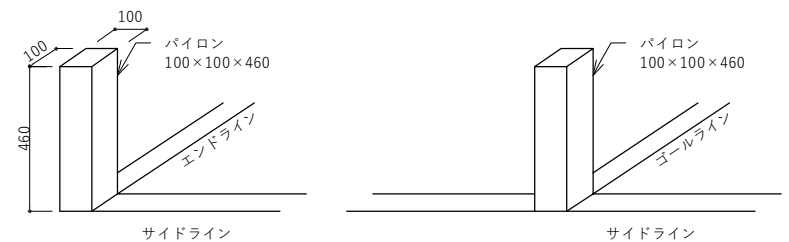
- ・ゴールは、エンドライン上に、クロスバーで連結された9.14m(30フィート)以上の垂直な2本のポストによってつくられる。
- ・ポストの内幅は5.64m(8フィート6インチ)、クロスバーの高さは上端からグラウンド面まで3.05m(10フィート)とする。
- ・ポストとクロスバーは白色または黄色とする。製品は、鉄製、アルミ製等がある。



ゴール寸法図

パイロン

- ・パイロンは、10cm(4インチ)角で、高さ46cm(18インチ)の柔軟なものが必要である。
- ・パイロンは、赤色またはオレンジ色で、サイドラインとゴールラインおよびエンドラインの交差点8ヵ所の角の内側に立てる。
- ・エンドラインとインバウンズラインの延長の交差点パイロンは、エンドラインから91cm(3フィート)離して置く。



パイロン寸法図